

講義名	対1)地域総合政策論			授業形態	
担当教員	岸野 啓一	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

【主題】日常生活や経済活動の基盤となる地域まちづくりの概念や全体構成に関する理解  
【概要】人々が日常生活や経済活動を円滑に、安全に、安心して行い、豊かで持続可能な経済社会を築くために、様々な視点から社会経済的諸活動を支え、地域のまちづくりを推進するための政策が執り行われている。  
この授業では、地域のまちづくりに関する政策の構想・計画策定から事業実施に至るまでの全体の流れとともに、政策立案に関する基本的な概念（計画や政策の理論と手法の基本的考え方）を個々のテーマ（高齢社会・地域再生・観光政策・環境・防災など）の事例を交えながらわかりやすく解説する。

**到達目標**

1. 経済学部学生が履修する地域まちづくりに関する専門科目について、そのベースにある計画や政策立案の手法や考え方を理解し、これらの専門科目に対して興味を持ち積極的に履修する意識を高めることができるようになる。
2. 地域まちづくりに関する政策は日常生活に密接に関連するものであり、日常生活の様々な場面と重ね合わせて具体的なイメージを抱き、経済学部の学生としてこうした政策が地域社会の構築に意義深く重要な役割を担うことについて基本的な理解を深めることができるようになる。
3. 卒業後に市町村職員などの行政職や民間企業のまちづくり会社・団体への進路に関心がある学生諸君については、実際の職務と密接に関わる内容が多いので、より関心と意欲が高まり自らのキャリア開発の契機とすることができるようになる。

**提出課題**

授業時間中に、その日の授業内容に関する演習を行う。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

次の授業の際に、全体的な講評や解説を行う。

**評価の基準**

試験（前半部の確認テスト・定期試験）を70点、平常点（授業時間中に実施する演習）を30点、合計100点満点で評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

積み上げ型の授業ではないが、経済学部の学生が地域まちづくりに関する政策の全体像を把握するための基礎的な考え方やその事例を解説するので、課題演習に取組みながらその内容をきちんと理解してもらいたい。そのため、授業への出席と積極的な参加を強く奨励する。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

授業の際にプリントを配布する。参考文献があれば、授業時間に紹介する。

**授業計画**

1. ガイダンス（地域総合政策論とは、授業の進め方、評価方法、授業の全体構成など）
2. 地域総合政策の例（1）高齢社会とまちづくり
3. 地域総合政策の例（2）観光まちづくり
4. 地域総合政策の例（3）環境負荷の小さなまちづくり
5. 地域まちづくりの全体構成
6. 地域の姿を表す統計データ
7. 地域の将来像を示す総合計画
8. まちづくりの基礎となる都市計画
9. 前半部のまとめと確認テスト
10. 人々の活動を支える地域交通政策
11. 交流を促進し地域の活力を高める地域観光政策
12. 災害に備え、地域の生活を守る地域防災計画
13. 地球にやさしい・地域にやさしい環境計画
14. 衰退した地域の復活を図る地域再生
15. 地域の政策を進める組織・財源  
定期試験

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業の内容はできる限り授業中に理解することが望ましいが、授業の内容を確認し理解を深めることを目的としたレポート課題を課す。このため、授業内容の復習とレポート作成に週2時間程度を充てる必要がある。また、地域まちづくりに関する政策は実生活に関連するものであり、日常生活における様々な体験を授業で得た知識や知見と照らすことにより、授業の内容をより具体的に理解することや理解を深めることを期待する。これを実践するために、日々の生活において地域において展開されている政策を意識し、週2時間程度、日常生活で得た様々な体験を政策と関連づけて考えることを求める。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

この授業は、本学のディプロマ・ポリシーに記載された「経済学部・経済学科の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力」のうち、次の項目に強く関連する。人間・社会・自然に関するこれまでの学問的取組の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。経済学を基礎として、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり  
これまで取り組んできた地域まちづくりの実践例などを授業の中で紹介する。

**備考**